



第 47 回 JSiSE 全国大会 開催報告

担当者： 全国大会委員会 委員長 小尻智子（関西大学）

2022年8月24日（水）から26日（金）までの期間、教育システム情報学会全国大会を新潟工科大学とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。まずはこのような難しい状況下で現地実行委員をお引き受けいただき、そして素晴らしい大会運営をしていただきました新潟工科大学の山岸芳夫先生と長岡技術科学大学の中平勝子先生、そして北信越支部の皆様にご礼申し上げます。また、ハイブリッド形式での大会の運営方法について議論を重ね、大会が盛り上がるよう様々なアイデアを出していただきました大会委員会の皆様にご心より感謝申し上げます。また、プレカンファレンスや企画セッションなどの企画をオーガナイズして大会を盛り上げてくださった皆様、ご登壇いただきました皆様、座長をお引き受けいただきました皆様、そして大会に参加いただきました皆様にご心よりお礼申し上げます。

日々変わっていくコロナの感染状況を見ながら対面で開催できるか半信半疑の中、約1年前から対面での準備を始めてきました。8月に新潟県にBA.5対策強化宣言が発令されたときは、対面開催をすることで新潟県や柏崎市にご迷惑をおかけするのではと悩みましたが、補助金を出して下さっている新潟県や大会委員の後押しもあり、3年ぶりの対面開催を決断しました。3日間で約130名もの参加者が来場し、クラスタを出すこともなく、無事に終了することができました。マスク着用、大人数での会食の自粛などの制限はありましたが、3年ぶりに皆さんの元気な顔を見れたことは想像していた以上に嬉しく、対面で議論できるありがたみを実感した会となりました。

ハイブリッド形式での実施については、パソコン・カメラ・集音マイク等の機材の準備に加え、オンラインと対面の参加者が円滑にコミュニケーションをとれるよう、様々な工夫をこらしました。例えば、セッションではカメラで会場の様子を映したり、会場担当が会場の質問者とオンラインの座長の間を取り持つなどし、参加者がいる場所に関わらず議論がしやすくなるようにしました。初日のメイン会場では、舞台全体を映すカメラの映像と発表者の手元のカメラ映像を適宜切り替えることで、オンラインの参加者にも会場の様子をできるだけ伝えられるようにしました。さらに、企業展示のスタンプラリーをQRコードを利用した形式に変えることで、オンラインの参加者も企業展示に参加しやすくなるようにしました。これらの工夫で得られたノウハウは、今後ハイブリッドで開催する様々なイベントに活用していけたらと思っています。

さて、「ニューノーマル時代のインクルーシブ教育を支える教育・学習支援技術」というテーマのもと、大会初日にはインクルーシブ教育に焦点をあてた企画を行いました。特別講演では、文部科学省初等中等教育局の深草瑞世調査官より、インクルーシブ教育の推進のための教育・学習支援技術の役割や、それらに期待することについてお話いただきました。メイン企画では兵庫教育大学の小川修史准教授をはじめとする一般社団法人日本障がい者ファッション協会の皆様へ、障がい者ファッションでのパリコレへのチャレンジをとおして、ソーシャル・インクルージョンを実現する社会の在り方について熱く、そして笑いを交えてお話いただきました。これらの講演は、インクルーシブ教育に対して私たちが持つべき意識や支援の在り方について考えることのできる良い機会となりました。

最後に、来年の全国大会は東大阪市にある近畿大学で開催予定です。どのような形式で実現できるかはわかりませんが、皆さんが参加しやすく、皆様にとって実りのある形式で開催したいと思っています。来年こそは懇親会も開催できるよう関係者一同準備を進めてまいりますので、是非来年もご参加ください。



第 47 回全国大会奨励賞審査結果

担当者： 大会奨励賞審査委員会

大会奨励賞は、教育システム情報学および関連分野における学問の発展を奨励するため、その貢献が顕著である新進の研究者に贈呈するものです。受賞時に本学会の会員(入会申請中を含む)であって、40歳を越えていない、または、本学会入会時から10年を経過していない方が対象となります。また発表論文の第一著者であり発表時において登壇者であること、直近の過去2回の大会でこの賞を受賞していないことも条件となります。

大会奨励賞審査委員会により論文審査・発表審査を行い、本大会の審査対象論文 74 件（口頭発表の部：59 件、インタラクティブ発表の部：15 件）から、以下の論文の各第一著者を大会奨励賞に選定いたしました。

（以下は講演番号、発表題目、著者(○は受賞者)、所属の順)

<口頭発表の部>

C2-1 深層学習を用いた難易度調節機能付き読解問題自動生成手法

○鈴木彩香, 宇都雅輝 【電気通信大学大学院】

G3-3 外国語多読学習のための獲得語彙の推定分布を考慮した効率的なテキスト選択

○江原遥 【東京学芸大学】

C5-3 プレゼンテーションのセルフレビューにおけるロボットプレゼン動作デザインの有用性

○伊藤絢勇, 柏原昭博 【電気通信大学大学院】

<インタラクティブ発表の部>

SP-10 3軸加速度センサによる計測データに基づくスラックライン動作の上達指標に関する基礎的検討

○千野匠(1), 香山瑞恵(1), 永井孝(2) 【(1)信州大学大学院, (2)ものづくり大学】

以上 4 件



学生研究発表会優秀発表者の全国大会参加報告

担当者： 人材育成委員会

本学会は若手研究者の育成に力を入れており、全国大会に「学生特別セッション」を設けています。これは、学生研究発表会の優秀発表賞受賞者と地区代表者に全国大会で発表していただく場として企画されたものです。全国大会で発表する優秀発表者および地区代表者は、「全国大会優待」として全国大会参加費と学生特別セッション分の論文掲載費が免除されます。

昨年度の学生研究発表会は全国 8 地区において開催され、優秀発表賞・優秀ポスター発表賞として計 27 名が選ばれました。2022 年度全国大会ではそのうち 12 名が学生特別セッションで発表（学生研究発表会の論文が大会論文集に再掲）、1 名が一般セッションで発表しました。全国大会はハイブリッド開催となりましたが、学生特別セッションはオンラインのみでの実施となりました。

以下に、全国大会優待利用者の大会参加報告を掲載します。

この度は、全国大会で発表させていただける機会を頂き、ありがとうございました。オンラインでのインタラクティブ発表では、私自身慣れないところもありましたが、たくさんの意見や感想、ご指摘をいただくことができました。その中で自身の研究の新規性や強み、課題などを再確認する貴重な機会になり、研究に対するモチベーションにつながりました。これからもより一層、研究に励みたいと思います。最後に指導してくださった先生方、大会関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。

(佐賀大学大学院 修士 1 年 宮副 航輔)

はじめに、全国大会への招待という、貴重な機会を頂いたことに多大なる感謝を申し上げます。初めてのポスター発表ということもあり非常に緊張をしていましたが、来場者の方々が真摯に耳を傾けてくださったおかげで、沢山の意見を交流することができました。一般セッションにおいても、自分の発表における経験だけでなく、他の参加者の研究発表や活発な質疑応答を拝聴することができて、非常に刺激を貰うことができました。今回頂いた意見や感想、刺激をモチベーションとして、さらなる発展を目指して自身の研究活動に取り組んで行きたいと思います。最後になりますが、JSiSE と他の研究者の方々の益々のご発展をお祈りしております。

(信州大学大学院 修士 1 年 杉井 奏斗)

この度は貴重な経験をさせて頂き誠にありがとうございました。個人としては初の対面での発表ということでワクワクしておりました。実際経験してみると、とても楽しく、皆さんが真摯に私の発表を聞いて下さり、意見を頂けたのでとても有意義な時間を過ごすことができ、それに伴いもっとすごい研究をしたいと意欲が向上しました。今回頂いた意見を受けてより研究に精進していこうと思います。本大会を開催して頂き誠にありがとうございました。

(大阪府立大学 4回生 松浦 碧)

この度は、全国大会の参加という貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。インタラクティブ発表ではオンラインでの開催ということもあり、最初は不安でしたが、本番の発表ではたくさんの方々が発表を聞きに来てくださり、ご意見やご質問をくださって有意義な時間を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。特に、自身の研究において実際の授業を行っている立場の方々の意見は大変参考になりました。今後の卒業研究や修士になってからの研究へ活かせるように精進します。最後に、全国大会という素晴らしい機会を下さった大会運営の皆様、指導教員をはじめ今回の発表に関わってくださった皆様に厚く御礼申し上げます。

(静岡大学 学部4年 山川 智也)

この度は、学生研究発表会に引き続き、全国大会参加という貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。オンラインからの参加となりましたが、全国各地の先生方、学生の方々から貴重なご意見やご指摘をいただき、沢山の刺激を得ることができました。社会人としての参加であったため、また違った視点で多くのご意見を受け止めることができました。この経験を活かし、研究のみならず今後の人生もより一層精進してまいります。最後に、指導教員をはじめ本研究にご協力いただいた皆様、研究発表会・全国大会でこれまでお世話になった皆様に、厚く御礼を申し上げます。

(株式会社デジタルブロックス システムソリューション部 北中 美帆)

この度は全国大会での発表という貴重な機会をいただき、ありがとうございました。インタラクティブ発表は初めての経験であり、緊張しましたが、発表の質疑応答で、様々な意見をいただくことができ、とても有意義な時間となりました。改善点や新たなアプローチの手がかりを知ることができ、大変勉強になったと同時に、発表に参加してよかったと思いました。今大会で得られたことを生かして、今後も研究に取り組んでいきたいと思います。最後に、今大会の関係者の皆様方に感謝を申し上げます。

(名古屋大学大学院 修士2年 藤本 和伶)

この度、全国大会における学生特別セッションで発表する貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。質疑応答にて、様々な分野で活躍されている先生方から貴重なご意見をいただくことができ、視野が広がり、自身の研究の有用性、課題がより明確になりました。また、多くの方々に自身の研究に興味を持っていただき、研究のモチベーション向上にも繋がりました。今回の発表で得られた経験を今後の研究活動に活かし、研究のさらなる発展に取り組んでいきたいと考えています。最後に、本大会を運営していただいた方々をはじめとした、本大会に関わる皆様に心より感謝申し上げます。

(和歌山大学大学院 修士1年 高岡 棕雅)

この度は学生研究発表会に引き続き全国大会で貴重な機会をいただきました。本大会では特別セッション、口頭発表両方に現地で参加させていただきました。どの発表においても様々な先生方や聴講者の貴重なご意見ご質問をいただき非常に今後の参考になる時間を経験させていただきました。興味を持って質問してくださった方も多かったことから自分の研究の立ち位置や意義のある研究活動ができていることを再確認しました。本大会での経験を活かし今後の研究に活かしていきたいと思えます。最後になりますが本大会の運営の方をはじめとしたスタッフの方々、質問をいただいた皆様に御礼申し上げます。

(信州大学大学院 修士1年 千野 匠)

この度は全国大会という貴重な場にお招きいただき、誠にありがとうございました。オンラインと対面のハイブリッド形式での開催ということで、このような社会状況の中、対面での発表機会をいただけたことに感謝しております。セッション内、そしてセッション外の時間にも質問をしてくださる人がおり、様々なご意見をいただきました。自分の研究をいつもとは違った角度から見つめ直す良い機会となりました。また、論文執筆から発表までの一連の経験は、多く学びが得られるものでした。今回の経験を今後の研究活動に活かし、これからも一層精進して参りたいと思えます。

(大阪府立大学 学部4年 岡本 花奈乃)

人材育成委員会では、学生研究発表会、全国大会学生特別セッションを継続していくとともに、今後も若手育成を活性化させる企画を検討していきます。



第 48 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

2023 年度全国大会の開催日と開催場所の予定が決まりました。

開催日：	2023 年 8 月 29 日（火）～ 8 月 31 日（木）
開催場所（予定）：	近畿大学（東大阪キャンパス） https://www.kindai.ac.jp/

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ アクセス

<https://www.kindai.ac.jp/access/>



2022年度 第4回研究会 開催案内

担当者： 研究会委員会 長谷川忍，柏原昭博，小尻智子，曾我真人，松浦健二

■テーマ： スキル開発とその支援技術／一般

(※情報処理学会の教育学習支援情報システム (CLE) 研究会と併催)

■開催日時： 2022年11月4日(金)，5日(土)

■開催場所： オンラインおよび徳島大学常三島キャンパスによるハイブリッド開催

■発表申込締切： 2022年9月22日(木)

■原稿提出締切： 2022年10月6日(木)

■研究会 CFP: https://www.jsise.org/society/committee/2022/CFP_4th.html

■趣旨：

本年度第4回研究会は「スキル開発とその支援技術および一般」のテーマで実施いたします。人間のスキルは、生来的な能力とは異なり、訓練・学習・努力によって習得される技能ですので、専門的な技能を高めたり、対象技能から別の対象への転化能力を得たり、技能に寄与する知識を深めたり、さらにはそれらの過程を効率化したりすることが可能です。研究としては、人間のスキルに関する科学的知見は学習分析なども活発に研究されているところですが、今後も持続的な研究対象となり、それを支える環境の設計論など工学的知見は実践・実装への有用性が高い研究対象として寄与することになります。

スキル学習の対象領域には、「数学，語学，芸術，医療，教育，スポーツ」など大学を含む学校教育においては学習者の発達段階に応じた研究が多数なされてきています。また，社会人教育や生涯学習的な対象としても，「プログラミング，セキュリティ，プレゼンテーション，コミュニケーション，ビジネスマナー，運転」など世代を問わず学び続ける対象領域としても研究が展開されています。「建築，建設，塗装，陶芸，料理」などの分野では，熟練技能者からの伝承・伝達も社会的な課題として認知される所です。メタなレベルで捉えれば，そもそも，こうした学習自体も学習スキルであり，生涯学び続ける人生において，あらゆる人が個々に経験知を有する必須スキルです。

本研究会では，こうした人間のスキル学習とその支援技術をテーマとし，システムティックな支援環境設計論やスキル学習の対象領域ごとの特性を考慮した学習方法論などを広く深く議論したいと思えます。また，本テーマに沿った内容に限らず，本学会の取り扱う領域における一般の研究発表も受け付けておりますので，多くの皆様にご参加いただき熱い議論をお願いします。

■発表時間等：

発表時間は25分(発表17分，質疑7分，入れ替え1分)を予定しております。

■研究会への参加方法：

2021 年度研究会より、研究発表および研究会参加には、研究報告の年間購読（4,000 円/年）または各回の研究報告の購入（1,000 円/回）が必要となります。ただし、聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

○発表者

発表者も事前参加申込（研究報告の購入）が必要です。なお、事前参加申込は 2022 年 10 月 7 日 9 時に開始します。事前参加申込についても、下記の「申込者ログイン」から手続きしてください。

○聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は、「申込者ログイン」での手続きは行わず、下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○上記以外の参加者

研究会の参加には事前参加申し込み（研究報告の購入）が必要です。申込は 2022 年 10 月 7 日 9 時に開始します。開始時刻以降に、下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

申込者ログイン　：　<https://iap-jp.org/jsise/course1/login.php>

○会場校での現地参加希望の方

会場校において来場者数制限がありますので、当日オンサイト参加をご希望の場合は 10 月 7 日までに、上記事前申込とは「別に」研究会 CFP に記載の「会場参加申込」にて、予め会場参加申込をお願いします（上限に達した時点でフォームは閉鎖されます）。来場に際しては、会場校の指示にしたがい、感染症対策等の徹底をお願いいたします。

■研究報告執筆フォーマット：

研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究報告見本：<https://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■お問い合わせ先：

松浦健二（徳島大学，第 4 回研究会担当委員）

E-mail：ma2[at]tokushima-u.ac.jp（[at]の部分をも、「@」に変えて下さい。）



2022 年度 第 5 回研究会 講演募集

担当者： 研究会委員会 佐々木整，三石大，高木正則，鷹野孝典，光原弘幸

■ テーマ：

教育 DX と実世界指向学習環境／一般

■ 開催日時：

2023 年 1 月 21 日(土)

■ 会場：

拓殖大学 文京キャンパスおよびオンラインハイブリッド開催

(ハイブリッド開催予定，ただし，完全オンラインになる可能性あり)

■ 趣旨：

本年度第 5 回研究会は「教育 DX と実世界指向学習環境／一般」のテーマで実施いたします。携帯情報端末や高速無線通信，存在感を有して知的に振る舞うロボット，身の回りの様々なモノをコンピューティングの対象とする IoT，実世界と仮想世界を融合した学習環境を提供する MR/VR/AR など，新しい教育学習環境を切り拓く技術が次々と社会に浸透しており，このような新技術は教育学習環境を大きく変えようとしています。

また，世界的なコロナ禍の影響で，教育学習環境のオンライン化が一気に加速し，教育現場における DX への関心が急速に高まっています。このような学び方や教え方のパラダイムシフトの必要性や可能性を実感する一方で，実際にその場に訪れ，人やモノと接することでしか得られない学びを提供する実世界指向の教育学習環境の重要性も指摘されています。

こうした教育学習環境の急速な変化を踏まえ，第 5 回研究会では「教育 DX と実世界指向学習環境」について，そのための教授設計も含め，システム・基礎技術の開発，実践，ならびに，新しい教育・学習手法に関する研究発表を募集し，共に考える議論の場としたいと考えています。なお，本テーマに関わらず幅広く一般の研究発表につきましても併せて募集しますので，多くの皆様からのご発表のお申込みをお待ちしております。

■ 発表申込締切：

2022 年 11 月 24 日(木)

■ 原稿提出締切：

2022 年 12 月 14 日(水)

■ 発表時間等：

発表時間は25分（発表17分，質疑7分，入れ替え1分）を予定しております。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には，研究報告の年間購読（4,000円／年）または各回の研究報告の購入（1,000円／回）が必要となります。ただし，聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

オンライン（Zoom）のアクセス先は，参加申込時に送信されるメールに記載されます。

また，会場校での参加希望の方は別途申し込みが必要となります。

発表申込および原稿提出は，学会ホームページ（<https://www.jsise.org/society/committee.html>）よりお願いします。

また，事前参加申込（研究報告の購入）の開始は12月15日（木）を予定しております。学会ホームページ（<https://www.jsise.org/society/committee.html>）でご確認をお願いいたします。

■ 研究報告執筆フォーマット：

研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究報告見本：<https://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ お問い合わせ先：

佐々木 整（拓殖大学，第5回研究会担当委員）

E-mail: [jsise-sig-5th\[at mark\]googlegroups.com](mailto:jsise-sig-5th@googlegroups.com)

（[at mark]の部分は，半角の「@」に変えて下さい）



学生研究発表会発表募集（第1報）

担当者： 人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を開催する予定です。開催方式を含め、スケジュールの最新情報ならびに申込み方法は、今後、学会ウェブページにて更新していきます。皆様の積極的な参加・発表をお待ちしております。全国大会との連携企画も検討しております。

申込み期限は1月下旬、発表原稿提出は2月はじめを予定しております。



「博士論文紹介」の原稿募集について

担当者： 学会誌編集委員会 委員長 瀬田和久（大阪府立大学）

学会誌のコミュニティプラザ「博士論文紹介」は2021年より、各巻のNo. 3（7月1日発行）に集約をし、博士論文の紹介を総覧できる形式へ移行しました。複数の博士号取得者を一同に紹介することで「博士号取得者の研究テーマの動向を読者の皆様が一目で把握できる」「博士取得者同士が互いを知る機会として、交流を深めるきっかけとなる」などのメリットがうまれることを期待しております。

年1回に集約したことにより、寄稿依頼を年度末前後の3～4月頃とし、本誌や学会のニューズレターなどを通じて、募集を行って参ります。お近くに博士号取得者や、今後学会誌掲載時に博士号取得予定者がいらっしゃいましたら、ご本人または、指導教員の立場によらず、以下の教育システム情報学会誌編集委員会担当委員のメールアドレスまで、お気軽に情報提供いただけますと幸いです。

2023年7月1日発行予定となります学会誌Vol. 40, No. 3につきましては、【2023年4月21日（金）】を原稿締切の予定とし、募集を行ってまいります。また今回より、博士論文紹介原稿用の執筆要領&原稿テンプレートを新たに作成し、原稿および必要事項の提出に関しましても、Google フォームを用いて行うようにいたします。下記URLよりご利用ください。

スケジュール

原稿締切： 2023年4月21日（金）（予定）
学会誌掲載： 学会誌Vol. 40, No. 3, 2023年7月1日発行（予定）

執筆要領および原稿提出

執筆要領&原稿テンプレート：

<https://drive.google.com/uc?export=download&id=1ZQLwCvdBb0RF7YCtXiBLk3rinKqe7Qsc>

原稿提出（Googleフォーム）：

<https://forms.gle/bjSbqUr8o4p646349>

問い合わせ等

問い合わせ先： 教育システム情報学会誌編集委員会 担当委員 山崎 治（千葉工業大学）

E-mail: yamazaki@net.it-chiba.ac.jp

（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



2024 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会 委員長 瀬田和久（大阪府立大学）

「答えのない課題の解決に挑む学び」を支える教育システム・デザイン

論文投稿締切：2023 年 6 月 1 日（木）（予定）

2024 年 4 月 1 日 発行（予定）

これからの社会に求められる「新たな価値の創造」に対応できる人材の育成を支える教育システム・デザインの提案・実践、また、それらの取り組みを加速する先駆的な教育 DX の取り組みに関する論文を募集します。

現代は、「先行きが見通せない予測困難な時代」「持続可能な未来のために劇的な社会変革が求められる時代」であるといわれています。価値観が多様化し、複雑さを増す社会における喫緊の課題として、新たな課題の発見・解決を通じた価値創造に対応できる人材の育成が挙げられています。従来からの価値のみに縛られず、「答えのない課題」に挑戦し、解決していく人々を支えるための教育システム情報学領域からのアプローチを、本特集を通じ、広く社会に発信していきます。

1. 対象分野

「課題解決プロセス（課題の定義や解決、評価）」「創造性・創造的問題解決」「研究開発（R&D）」「PBL」などに関連した取り組みの他、価値創造ができる人材育成のカギと考えられる「主体的な学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向けた取り組みなどを広く募集します。またこれらを支える技術の在り方として ICT 活用・先進的学習支援技術・教育 DX の観点からの研究論文も歓迎いたします。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には、以下の点にご注意ください。

Web 投稿の際には「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。また、特集論文研究会（2023 年 3 月開催予定）で発表を行った方は、投稿情報入力に際して、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

4. スケジュール

論文投稿締切： 2023年6月1日(木) 【予定】
採録通知予定： 2023年12月初旬まで 【予定】
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 41, No. 2, 2024年4月1日発行 【予定】

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表・ご参加ください。詳細は、今後の最新の開催案内(<https://www.jsise.org/society/committee.html>)をご覧ください。

特集論文研究会： 2023 年 3 月 【予定】
会 場： 北九州市立大学 【予定】
発表申込 締切： 2023 年 1 月下旬 【予定】
原稿提出 締切： 2023 年 2 月上旬 【予定】

5. 特集号編集委員会

委員長： 瀬田 和久(大阪公立大学)
副委員長： 村上 正行(大阪大学)
筆頭幹事： 後藤田 中(香川大学)
幹 事： 高木正則（電気通信大学），田中孝治（金沢工業大学），
山崎 治（千葉工業大学）
幹事補佐： 近藤 伸彦（東京都立大学），津森伸一（聖隷クリストファー大学），
山元 翔（近畿大学）
委 員： 学会誌編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 山崎 治（千葉工業大学） E-mail: yamazaki@net.it-chiba.ac.jp



Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL（Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>）Vol.3 への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

○ 論文種別： 一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）,

実践論文（Practice Paper, 基本 8 ページ）,

システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）,

ショート論文（Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで）

<これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます>

○ 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。

○ 投稿要件：

- 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。

- 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。

○ 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。

○ 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >

- ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
- 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
- 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
- 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、証明書提出を推奨しています。

○ 査読方法：

- 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
- 査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります（著者照会は 1 回のみ）。

- 評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の4項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。

- 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



2022 年度研究会開催スケジュール

担当者： 研究会委員会

2022 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ (<https://www.jsise.org/society/committee.html>) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 1 回	DX 時代に向けた学習環境 の変革／ヘルスケア分野 の DX 人材育成／一般	終了	オンライン開催	終了	
第 2 回	ICT を活用した学習支援 と教育の質保証／一般	終了	北星学園大学 (北海道札幌市)	終了	
第 3 回	対面・オンライン・ハイ ブリッド授業支援／一般	終了	オンライン開催	終了	
第 4 回	スキル開発とその支援 技術／一般	2022 年 11 月 4 日 (金), 5 日 (土)	徳島大学 (常三島 キャンパス) オンライン ハイブリッド開催	終了	2022 年 10 月 6 日 (木)
第 5 回	教育 DX と実世界指向 学習環境／一般	2023 年 1 月 21 日 (土)	拓殖大学 (文京キ ャンパス) オンライン ハイブリッド開催	2022 年 11 月 24 日 (木)	2022 年 12 月 14 日 (水)
第 6 回	学校段階間での接続を意 識したデータサイエンス 教育／一般	2023 年 3 月 (予定)	北九州市立大学	未定	未定
特集	未定	2023 年 3 月 (予定)	北九州市立大学	未定	未定

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000円(定例研究会年6回、特集研究会1回、計7回分を含む)
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望

会員番号 (お分かりであれば) :

お名前 :

所属 :

連絡先 e メールアドレス :

=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

北信越支部より活動報告

北信越支部主催ワークショップ「成果発表を磨く」開催・募集のお知らせ

担当者： 教育システム情報学会 北信越支部

北信越支部では、広く教育工学、教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため、【成果発表を磨く】というワークショップを開催しています。

内容は、論文執筆を目標とした研究のまとめかたに関する講演とともに、学位取得を目指す博士生や論文投稿を目指している修士生による研究発表と、論文執筆と目標とした議論です。過去のワークショップでは参加者より、多くのコメントもいただきました。これらの様子は、北信越支部の Web サイトや Facebook にてご覧いただけます。また、数多くのコメントをいただいた博士課程学生の皆さんは論文採録 2 本、国際コンペ表彰 1 名、学位取得 4 名など、それぞれに成果をあげています。

本年度は以下の内容にて開催を計画しています。なお、本ワークショップは、全国の学生会員もしくは会員の皆様が指導されている学生を対象としたワークショップとなっております。

「成果発表を磨く」実践的な機会であり、研究に対する多くの有益なコメントをいただける機会です。併せて、学生研究発表会もありますので、学生の皆さんはこれらと合わせて是非ご参加ください。

○北信越支部ワークショップ【成果発表を磨く】

開催日時：2023 年 3 月上旬（予定）

開催場所：※ オンライン開催の可能性を含めて検討中。決まり次第 Facebook でご案内します。

話題提供・討論概要：

申込者には、1 件あたり 50 分の時間が与えられます。

与えられた時間の中で話題提供と討論をしてください。

事前に予稿等の原稿提出は不要です。当日の資料配付等は可とします。

対象：博士後期課程学生もしくは博士前期課程で論文投稿を目指す者

JSiSE 学生会員または JSiSE 会員に指導を受ける者

申込方法・〆切：※ 現在、開催日時を調整中です。決まり次第 Facebook などでご案内します。

申込み、お問い合わせ先：北信越支部研究会担当 hse-submit@jsise.org

※ 話題提供のタイトル、氏名、連絡先、指導教員の氏名をお知らせください。

北信越支部 Web サイト：<https://hse.jsise.org/>

北信越支部 Facebook：<https://www.facebook.com/jsisehse>

関東支部より活動報告

第4回リサーチ・コ・コ・コモンズ開催のお知らせ

担当者： 教育システム情報学会 関東支部

昨年度に引き続き、関東支部主催にて連携（collaboration）による新たな学びの共創（co-creation）を実現するためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を開催いたします。今年度も学生の皆さまに自身の研究の魅力を再発見していただくための企画です。

学外の研究者・学生との議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見して、あなたの研究をもっと伸ばしてみませんか？

開催日時：12月3日（土）11:00～17:00（予定）

場所：早稲田大学早稲田キャンパス（ハイブリッド）

対象：他大学の方々との交流を通じて自身の研究を見つめ直したい学生

※ 関東・東北地区以外の学生の方の参加も大歓迎です。

※ 聴講はどなたでも可能です。

参加費：無料

<プログラム>

第1部：ベテラン研究者からの熱いメッセージ

基調講演：「研究・開発・学びのデザイン（仮題）」

加藤 泰久 先生（東京通信大学）

第2部：魅力 Aware / Share / Deeper セッション

研究紹介

自身の研究の魅力を参加者に伝えよう

伝え方は自由（PowerPoint・ポスター・口頭のみ）中間発表などで使ったものを流用しても

OK！

事前の発表原稿提出も不要です

参加者とのディスカッション

学外の研究者・学生との建設的な議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見しよう

発表・聴講をご希望の方は、11/18(金)までに下記 URL よりご登録下さい。

発表をご希望の方：<https://bit.ly/rcococo2022>

聴講をご希望の方：<https://bit.ly/rcococo2022-audit>

関西支部より活動報告

関西支部共催「第18回情報教育合同研究会」開催&発表募集のお知らせ

担当者： 教育システム情報学会 関西支部

1. テーマ 情報 I の理想と現実 ～学校の現状を直接対話しよう～

2. 日時 令和 4(2022)年 11 月 19 日（土）13:00～16:40

3. 会場 園田学園女子大学 樺和館（4号館）

兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1 TEL 06-6429-9909(情報教育センター直通)

※本研究会は「園田学園女子大学感染症予防ガイドライン」に従って開催します。

※各会場の配置は、収容定員の半以下にするなど、密が回避できるように設定しま

す。

4. 共催 情報コミュニケーション学会情報教育特別委員会 教育システム情報学会関西支部

日本情報科教育学会近畿・北陸支部 兵庫県高等学校教育研究会情報部会

大阪府高等学校情報教育研究会 情報教育学研究会(IEC) 水上市報教育研究会

Logo に学ぶ会 Neo

5. 後援(予定) 兵庫県教育委員会 尼崎市教育委員会 園田学園女子大学

6. 日程(予定)

12:30 ～	【受付】	
13:00 ～ 14:10	【分科会】 「学校の現状を直接対話しよう」 (複数セッション同時開催) テーマ①GIGA でつながる情報教育 ②プログラミング教育の実際 ③大学入学共通テストに向けた動 き	【研究発表】 (複数会場同時開催) テーマ①情報科教育 ②情報教育一般
14:30 ～ 16:40	【全体会】 ・講演「共通教科情報科の着実な実施，よりよい実施に向けて」 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官 (併)文部科学省 初等中等教育局 修学支援・教材課/教育課程課情報教育振興室 教科調査官 文部科学省 初等中等教育局 参事官(高等学校担当)付産業教育振興室 教科調査官 田崎 丈晴 先生 ・パネルディスカッション「情報 I の理想と現実」	

7. 参加費 無料

8. 参加申込 10月中旬頃配布の開催案内（第2報）に申込の詳細を掲載します。

9. その他
- ・感染防止対策のため、ワークショップ、企業展示、情報交換会の実施は見送ります。
 - ・コロナ禍の状況によっては、開催を中止する場合があります。

研究発表の募集

「情報科教育」または「情報教育一般」に関する研究発表を募集します（1発表15分）。下記の要領でお申込みください。

1. 申込方法 電子メール（jkgk22@sonoda-u.ac.jp）でお申し込みください。
2. 申込必要項目 (1)発表タイトル (2)研究発表者（名前・所属） (3)概要（200字程度）
3. 申込締切日 令和4年10月28日（金）
4. 原稿締切日 令和4年11月3日（木）

◎お問合せ先：情報教育合同研究会受付（園田学園女子大学情報教育センター 垣東）
jkgk22@sonoda-u.ac.jp

関西支部の Web サイトにも詳細を掲載し、随時更新します。

広報からのお知らせ



Twitter アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2022年9月22日現在、フォロワー数 263 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2022年9月22日現在、いいね 508 件、557人フォロー

Twitter, Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局（secretariat@jsise.org）までお問い合わせください。



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

協賛「高校教科「情報」シンポジウム 2022 秋」

日時：2022 年 10 月 23 日(日) 10:00 - 16:00

会場：工学院大学新宿キャンパス／オンライン

後援名義使用「日本情報オリンピック」

日時：2022 年 6 月 7 日～2023 年 3 月 23 日

使用方法：ポスター，チラシ，Web サイト

後援名義使用「オンラインラーニングフォーラム 2022」

日時：2022 年 11 月 1 日（火）～11 月 5 日（土）

2022 年 11 月 8 日（火）～11 月 10 日（木）

会場：オンライン形式



国際会議のご案内

- 2022年10月開催

SITE Interactive 2022

開催期間 : October 5-6, 2022

開催地 : Online Conference

URL: <https://site.aace.org/online/>

- 2022年11-12月開催

ICCE 2022: 30th International Conference on Computers in Education

開催期間 : November 28 - December 2, 2022

開催地 : Kuala Lumpur, Malaysia

URL: <https://icce2022.apsce.net>



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

◆三菱UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。(2022年7月23日～2022年9月16日)

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
中嶋 瑞希	正会員	須藤 敬仁	学生会員
鷺野 嘉映	正会員	抜山 雄一	正会員
堀田 雄大	正会員	伊藤 絢勇	学生会員
古澤 未菜	学生会員	千野 匠	学生会員
鈴木 彩香	学生会員	今井 大智	学生会員
宮川 幹平	正会員		

(計 11 名)